

令和6年第4回定例会

一 般 質 問 通 告 書

厚 真 町 議 会



No. /

令和6年11月22日

厚真町議会議長 渡部孝樹様

通告議員氏名

折坂泰宏 

第4回定例会一般質問通告書

下記のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
ゼロカーボンタウン構想について	現在上厚真地区においてゼロカーボンタウン構想が進められているが、計画の内容や周知が十分に地域住民に伝わっていない事案がある。 行政として、そういった情報提供や丁寧な説明が不可欠であると考えているが、どのようにお考えか伺う。	町長
有害鳥獣駆除ハンターについて	現在社会ニュースでも問題になっているヒグマ駆除委託ハンターについて、北海道猟友会のヒグマの駆除辞退の判断が出たところである。それぞれの支部の自治体・警察との信頼関係が構築されていればその限りではないということであるが、厚真町としてハンターとの関係性は如何か町長の認識を伺う。	町長

(注) 質問の要旨は具体的に記載すること。

厚 真 町 議 会



令和6年11月29日

厚真町議会議長 渡部 孝樹 様

通告議員氏名 伊藤 富志夫 

第4回定例会一般質問通告書

下記のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
マイナ保険証について	マイナンバーカードと健康保険証が一体化した「マイナ保険証」の利用を促進するため、既存の健康保険証の新規発行が12月2日から停止されたが、 ① 厚真町におけるマイナンバーカードの発行率はいくらか。マイナ保険証を持っていない人はどれくらいいるか。 ② マイナ保険証がない人の対応はどうなるか。保険の種類ごとに異なると思うが、その対応はどうなるか。 ③ 「資格確認書」の手続きはどうするのか。マイナ保険証を登録しているが、「資格確認書」はもらえるか。 ④ その後はどうなるか。	町長
新庁舎周辺整備事業での現庁舎の扱いについて	現庁舎の扱いについて、令和6年度第1回定例会で「結果を踏まえて活用か解体かの方針をお示ししたい」が、第3回定例会で「町民に広く開放される民営事業化の可能性を問い直してまいります」となり、活用の方向で進んでいる様だが、解体の議論は行わないのか。	町長

(注) 質問の要旨は具体的に記載すること。

厚 真 町 議 会



No. 3

令和6年 11月 29日

厚真町議会議長 渡部 孝樹 様

通告議員氏名

橋本 豊



第4回定例会一般質問通告書

下記のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
厚南会館の施設改善について	厚南会館は子供から高齢者まで地域住民の方々に広く利用されている施設ですが、ここ近年葬儀等でも施設を利用する頻度が増えている。この施設の2階を利用するケースもあり、特に高齢者が階段を上り下りする姿を危惧している地域住民の声もあることから、安全面を考慮しエレベーターの設置を検討できないか。	町長

(注) 質問の要旨は具体的に記載すること。

厚 真 町 議 会



No. 4

令和 6 年 11 月 29 日

厚真町議会議長 渡 部 孝 樹 様

通告議員氏名 菅原文子 

第 4 回定例会一般質問通告書

下記のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
防災・減災の観点から河川の維持管理について	大雨・豪雨による河川の洪水を未然に防ぐために大きな河川だけではなく、小さな河川の維持・管理も必要だと考えます。町民の暮らしの安全・安心のために浸水・冠水を未然に防ぐには河川の浚渫（床さらい）や草刈りの実施を行うことが重要です。防災・減災の観点から、今一度小さな河川を含めた調査・点検を行うべきと考えますが町長のお考えを伺います。	町長
今後の行財政について	「広報あつま 11 月号」において令和 6 年度各会計の予算執行状況が掲載されました。歳入歳出それぞれ 117 億 962 万円であり、町債 1 人あたり 417 万円、1 世帯あたり 839 万円となっています。公債比率もあがってきている状況ですが、今後の行財政のスリム化について町長の見解を伺います。	町長

(注) 質問の要旨は具体的に記載すること。

厚 真 町 議 会



No. 5

厚真町議会議長 渡部孝樹様

令和6年12月2日

通告議員氏名

澤口千里 

第4回定例会一般質問通告書

下記のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
有害鳥獣対策について	拡大する有害鳥獣被害を防ぐため、本町においても国・道と連携し様々なエゾシカ被害防止対策を講じているものと理解する。その中でも侵入防止柵の設置による農業被害の防止について、町長の考え方を伺う。 1. 防護柵の設置等に関する取組において、補助対象となる防護柵の種類の選定経緯は。 2. 対策実施区域の被害状況の推移と、それに伴う未実施の地域への被害状況についてどのような分析をしているか。 3. 南部地域も含め、全町としての取組みとして「多様な防護柵の新設・維持にかかる支援」を検討できないか。	町長
投票率向上に向けた取組について	本年10月に行われた第50回衆議院議員選挙での、本町における投票率は前回に比べ4.11ポイント減の65.31%であり、近隣市町と比較すると高い状況ではあるが、他の市町と同様に年々徐々に低下している。 当該選挙については、解散から18日間の超短期決戦であったことや「投票所入場券の郵送が遅れた」ことが要因との新聞報道があったが、本町における投票率向上に向けた取組について以下の通り伺う。 1. 世代間の投票率の状況は。 2. 高齢者や障がい者支援のため移動式投票所の導入を検討できないか。 3. 投票率向上のためにどのような取組や啓発を行っているか。また若年層の投票率向上対策としての、小中学生に向けた主権者教育の実績やそのサポート体制はどのようなになっているか。	選挙管理委員会 教育長

(注) 質問の要旨は具体的に記載すること。

厚 真 町 議 会

健康行政について	子宮頸がんを予防する HPV ワクチン接種をめぐり、本年 11 月厚労省が「積極的勧奨の一時中止により接種機会を逃した女性に対する無料救済措置期限を条件付きで 1 年延長する」方針を決定した。このことについて、以下の通り質問する。 1. 本町におけるキャッチアップ率はどの程度か。またどのように個別勧奨を行ったか。 2. 接種する人のライフスタイルに合わせた接種機会の提供、そしてその取り組みの効果的な啓発が不可欠だと考えるが、町長のお考えは如何か。 3. 現在有料オプションとして提供されている HPV 検査について、その意義をどのように認識しているか。また本検査にかかる自己負担の軽減を検討できないか。	町長
----------	--	----

(注) 質問の要旨は具体的に記載すること。

厚 真 町 議 会

令和 6 年 1 2 月 3 日

厚真町議会議長 渡 部 孝 樹 様

通告議員氏名 永 徹



第 4 回定例会一般質問通告書

下記のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
新規就農者育成対策について	総務省の事業として厚真町で平成 23 年から取り組んでいる地域おこし協力隊・農業支援員は、延べ 19 名(うち農業担い手育成センター出身者 14 名)にのぼる。また、平成 30 年に農業担い手育成センターを開設し、座学・作物栽培指導など新規就農者のサポートをしているところです。これからも、農家人口減少、担い手不足解消のため、着実な就農、定住を図らなければならない。新規就農者育成の観点で、次に掲げる項目に答弁を求めます。 ①経済的経営環境の整備～報償費・活動支援補助金が農業支援員一人当たり上限 480 万円から上限 520 万円に特別交付金が 40 万円引き上げられたがその対応は ②出口対策～3 年間研修後、就農するにあたり、農地の取得を円滑にしなければならないが、大変厳しいものがあります。その対策はあるのか、また、町などが圃場を造成し、支援員に賃貸又は売買する方法はないのか ③技術指導・営農指導～就農後、経営安定を図るために、どのような体制で行うのか	町長
交通安全対策について	町道新町 9 号線と道道学園通り T の字と道道上幌内早来停車場線の北町と農協前の横断歩道の設置について必要であると思いますが、どのような状況か	町長

(注) 質問の要旨は具体的に記載すること。

厚 真 町 議 会